

所 属	健康福祉環境 部 生活衛生 課		
担当(係)名	生活環境	内 線	2 5 6 4

(款) 4 衛生費	(項) 3 公衆衛生費	(目) (3) 環境衛生指導費
(明細書事業名) 環境衛生指導費		
レジオネラ属菌対策事業費		

1 当初予算(要求)額(千円)

1,826

2 当初予算(決定)額(千円)

1,826

【財源内訳】

その他

(前年度1,441)

1,826

3 事業概要

レジオネラ属菌は、広く自然界に生息しており、循環ろ過装置を設置した入浴施設の浴槽水や空調設備の冷却水で増殖し、それらの微細な水滴(エアロゾル)を吸引することによりレジオネラ肺炎を発症することが知られている。平成14年7月には、宮崎県内の入浴施設において死者7名を含む大規模な集団感染事件が発生し大きな社会問題となった。

そこで、県内の公衆浴場、旅館及び社会福祉施設等の浴槽水等のレジオネラ検査を実施し、その検査結果に基づく施設の所有者及び管理者等への指導、啓発により、衛生的維持管理の徹底を図る。

4 施策の効果

- (1) 県内におけるレジオネラ属菌による集団感染の発生を防止する。
- (2) レジオネラ検査結果に基づき各施設に対する的確な維持管理(自主検査、自主管理等)の指導を実施することにより、衛生保持が徹底できる。

5 要求の内容

- (1) 県内の公衆浴場、旅館及び社会福祉施設等の浴槽水等を採取してレジオネラ属菌の検査を実施する。
- (2) 施設管理者向け「レジオネラ防止マニュアル(仮称)」を作成し、正しい知識の普及・啓発を図る。
- (3) 施設管理者等へのレジオネラ属菌対策の講習会を開催する。

6 用語の解説

エアロゾル・・・ジャグジー、ジェット噴射装置、シャワー、打たせ湯等により発生する微細な水滴。

レジオネラ肺炎・・・レジオネラ属菌が原因で発症する肺炎であり、適切な治療が受けられなければ致死的な経緯をとる場合がある。